



函南町立西小学校

学校だより

令和7年度 第4号



学校教育目標 いきいき 西っ子 ～重点目標 思いやりの気持ちでかかわろう～

## 『言葉は心』

校長 高橋敏子

7月の登校もあと2週間。学校はまもなく夏休みを迎えます。今年の夏は梅雨明けも早まり、猛暑日が続きますが、子供たちは暑さにも負けず充実感のある教育活動を継続しています。

5月の運動会を終えて6月からは「思いやりの気持ちでかかわろう」を重点目標に取り組んでいます。「思いやり」とは、「思いをやる」、つまり、「相手を大切にする思い」を「相手に向け、届ける」ことです。相手に優しくしてあげることも思いやりですが、日常生活の中で何気なく発する言葉にも相手を大切にする思いをのせて届けることができれば、けんかのない学校になりますね。

「ひとつのことば」 北原白秋

ひとつのことばで けんかして	ひとつのことばで なかなおり
ひとつのことばで 頭がさがり	ひとつのことばで 心がいたむ
ひとつのことばで 楽しく笑い	ひとつのことばで 泣かされる
ひとつのことばは それぞれに	ひとつの心をもっている
きれいなことばは きれいな心	やさしいことばは やさしい心
ひとつのことばを 大切に	ひとつのことばを 美しく

言葉にはひとつの心があり、言葉を遣う人の心が表れます。きれいな気持ちのときは、粗暴な言葉は出てきません。しかし忙しく慌ただしくしているときは、言葉もがさがさと粗雑になりやすいものです。「言葉は心」そのものなのです。ぜひこの機会に「ひとつのことばで 心がいたむ ひとつのことばで 泣かされる」こんな言葉を使っていないか、大人も子供も自分自身を振り返ってほしいと思います。

「優しいことばは、たとえ簡単な言葉でも、ずっとずっと心にこだまする。」  
マザーテレサの言葉だそうです。「ごめんね」「ありがとう」の言葉一つでも、きちんと声に出して気持ちを相手に伝えていくことも大切なことです。

言葉は遣う人そのものを表すと言われることもあるように、普段の言葉遣いに心を配っていきたいと思います。相手を思いやる優しい言葉、美しい言葉があふれる学校でありたいと願っています。

どうぞお子さんと対話を楽しんでください。そして安全で充実した夏休みをお過ごしください。